

シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	交通施策	小分類	公共交通	シミュレーションモデル名	AVENUE				
概要	適用事例名	浜松市都心部ユニバーサルデザイン化計画交通検討							
	目的・概要	浜松市の都心部ユニバーサルデザイン化計画において、対象交差点への横断歩道設置が現状交通に与える影響を評価することを目的とする。							
	本事例におけるモデル適用上の特徴	中心市街地のエリアに複数の交差点に横断歩道を設置するため、浜松市の中心市街地のネットワークをモデル化している。							
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	浜松市中心市街地(約 1km 四方)	対象時間帯	平日 7:00~19:00					
	評価対象時期	現況(平成 12 年)							
	対象道路網	国道、主要地方道							
	ネットワーク規模	ノード数	35	リンク数	74	起終点ノード数	21	総トリップ数	約 13 万台
		一般街路ネットワーク		交差点数	0	信号交差点数	14	道路区間数	26
		専道ネットワーク		分岐部数	—	出入口数	—	道路区間数	—
	特記事項	(ネットワークの概略図面を添付)							
入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度						
		交差点部	飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数						
		合流部							
	信号制御	設定パラメータ	信号現示、オフセット						
		作成方法	実測データを用いる						
	交通需要	設定単位	OD 交通量						
		作成方法	西遠都市パーソントリップ調査データより推定						
空間単位									
時間単位		1時間単位、12 時間							
車両属性区分	乗用車、大型車の2種類、経路選択方法により区分								
その他									
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式、1秒/1スキャン							
	パケットサイズ	1台/パケット							
	経路選択原理	旅行時間、右折回数をコストにした確率的経路配分、1 分毎に更新							
	特記事項								
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	各交差点流入部の飽和交通流率						
		方法	旅行時間および断面交通量が等しくなるようにパラメータを調整						
	検証方法	断面交通量、区間平均旅行時間を用いた検証							
検証用データ取得方法	交通量調査、車両による走行調査								
出力データ	1)区間平均旅行速度 2)区間平均旅行時間 3)区間平均遅れ時間 4)滞留長 5)渋滞長時間 6)滞留長パターン図								
記入者	所属機関・部署 (株)熊谷組 土木本部 社会システム部 交通システムグループ								
公表文献・資料等	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-9350	HP	http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/escote.html			
	花房比佐友、高橋勝美、堀口良太: 中心市街地の交通施策における動的交通シミュレータの適用、土木学会第 55 回年次学術講演集IV,2000								